

# 飛翔の軌跡

◆実用英語技能検定（第1回）準2級・・・8名  
準2級プラス・・・1名 3級・・・12名  
4級・・・10名 5級・・・12名

## ◆学校総合体育大会 県大会

### 陸上競技

3年男子100m ○○○○、3年女子100m ○○○○  
女子800m ○○○○、○○○○、○○○○  
男子走幅跳 ○○○○ 惜しくも決勝進出ならず

軟式野球 1回戦惜敗

ソフトボール 準決勝進出（第3位）

男子バレーボール 2回戦進出

水泳 50m自由形 ○○○○ 関東大会出場

卓球 団体 第4位 関東大会出場

○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

個人 第3位 ○○○○ 関東大会出場

## ◆全日本カデット埼玉県予選男子卓球ダブルス第4位

○○○○（他校とのペア）▶全国大会（11月広島）出場決定

## ◆全日本中学校陸上競技選手権（全国大会）

女子800m ○○○○ 予選4組第3位

惜しくも予選通過はなりませんでしたが、残り200mから4人をごぼう抜きする力走で、会場を沸かせてくれました。

## 沖縄県総合運動公園 陸上競技場（全国大会）



千葉県国際総合水泳大会（関東大会）



所沢市民体育館（関東大会）



関東大会・全国大会 激励会



## いじめのない学校づくり 子ども会議

夏休みに入ってからすぐ、いじめに関する各校の取組や課題を話し合い、2学期以降に生かすための会議が行われました。本校からは3年生の〇〇さんと〇〇さんが参加し、情報交換をしたり、中学校区に分かれて小学生と話し合ったりしました。

いじめ防止宣言から10年を迎えたことを受け、これまでの取組を振り返り、今後の進め方を見つめ直しました。この10年でSNSの利用はさらに低年齢化し、小中学生ともに、直接顔を合わせて気持ちを伝えあうコミュニケーションの大切さを強く訴えていました。

## 埼玉県吹奏楽コンクール 西部地区大会（所沢ミューズ）



銀賞



中高生美術展（キラリ☆ふじみ）



# 飛翔

富士見市立 瀬瀬中学校だより  
令和7年度 夏の思い出号

この夏に読んだ本  
「まいまいつぶる」 村木 嵐  
「シン読解力」 新井紀子  
「不登校のあの子に起きること」 高坂康雅  
「小金井みんなの公園プロジェクト」 8月号  
「ForbesJAPAN」

「未来を拓く力を身に付けた 思いやりあふれる人の育成」  
《知》 進取の気性をもち、仲間と共に創造を楽しむ生徒  
《徳》 多様性を尊重し、互いの成長を喜ぶ生徒  
《体》 心身を鍛え、協働と貢献を重んじる生徒  
昭和55年開校（46年目） 生徒数675名 20学級

酷暑の中、子どもたちの頑張りを日々支えてくたさる保護者の皆さまや地域の方々には、心から感謝申し上げます。3年生引退後も、よろしくお願ひいたします。

準決勝の日、懐かしいユニフォームの中にTさんの姿がありました。「え、先生、校長になったん？ そら俺も年取るわけがないあー！」20数年ぶりの再会に笑顔がこぼれました。

酷暑の中、子どもたちの頑張りを日々支えてくたさる保護者の皆さまや地域の方々には、心から感謝申し上げます。3年生引退後も、よろしくお願ひいたします。

県大会でソフトボール部が準決勝まで勝ち進む中、もう一つのブロックを勝ち上がってきたのは、私が新米教員として5年間、顧問を務めた小鹿野（おがの）中学校でした。ソフトボールは初めてという生徒が大多数の中、外部指導者のTさんには練習メニューを組んでもらうだけでなく、用具やユニフォームの手配までしていただき、まさに「おんぶにだっこ」の状態でした。土地勘のない私のために練習試合も手配してくれ、チームができていくと、県内にとどまらず、週末には保護者も一緒に群馬や山梨まで遠征したりしたものです。



イラストは、ホームページでの配信が認められたものを使用しています。

# 飛翔



# 勝瀬

— 目指す生徒像 —  
 【進取・創造】  
 【多様性・成長】  
 【協働・貢献】

## 7.30 ふじみ野分館で夏休みお楽しみ会 ～小物づくりやボードゲームで8名が大活躍～



## キミの一步が誰かの笑顔に



図書館のカードを入れるホルダー作りや、トースターで縮むプラ板加工などを通じて異学年交流を深める、小学校の「たて割り遊び」に似た企画です。

中学生になると、定期テストや部活動で生活リズムが大きく変わります。それでも、地域に戻ればみんな同じ「子どもたち」。一緒に遊びながら経験や知恵を共有する様子を見ていると、小学生と中学生の間に壁や隔りがあると決めつけ、ことさら誇張しているのは、実は私たち大人なのかもしれません。



# 飛翔



# 勝瀬

—目指す生徒像—  
【進取・創造】  
【多様性・成長】  
【協働・貢献】

## 7.26みほの祭り／8.3渡戸東町夏祭り ～地域の夏祭りでは5名のボランティアが大活躍～



キミの一步が誰かの笑顔に



舌の色が変わるかき氷、頭より大きな綿あめ…地元のお祭りは、子どもたちが目を輝かせ、胸を高鳴らせる特別なイベントです。ご高齢の方々にとっては、そんな子どもたちの笑顔を眺めながら、住み始めた頃の懐かしい思い出を呼び起こす、夏の風物詩でもあります。

中学生ともなれば、同じ日の街の大きなお祭りに行きたいもの。それでも、地元のお祭りに顔を出してくれるのはありがたく、また嬉しいことです。いつかこの地を離れる日が来たとしても、次の子どもたちに夢を与え、新しいつながりを創造して地域に貢献してくれることでしょう。